

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 4月 14日

事業所名:放課後等デイサービス のこのこ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		
	2 職員の配置数は適切であるか	5	1		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	床の硬さや階段の安全面に配慮が必要なのでじゅうたんやマットをしいたり、階段では必ずスタッフがつき、すべりどめなどをする。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	年に何回か研修の機会を持ち、外部研修の場合は行ったものが持ち帰って報告する様になっている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	保護者との話を共有した上で、スタッフで会議を持ち、ニーズ、課題などを話し合っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		毎月、現場スタッフを中心に活動について会議を持って話し合っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		曜日で偏りが無い様に運動、工作、レクなど満遍なく入れ込む様にしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	長期休みは主に学校での課題を中心に一定時間集中し取り組む時間を午前中に設けている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		口頭や紙面での伝達、声かけを意識しながらしている。職員全員がどの子も見れる様日々担当を変えて割り振っている。漏れのない様、全スタッフで把握、共有できる様、確認は欠かさない様になっている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	当日時間が取れなかった時は、次の日に共有できる様、口頭や紙面での申し送り伝達をしている。書く人が偏らないように配慮している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			
	18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	1		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3		
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			保護者への細やかな配慮が必要な場合は特にスタッフ間で周知しておける様な工夫が必要。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6		必要を感じていない保護者もいるので、色々な意見を聞きながら考えていきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		紙面での配布、LINEで全体へ発信する様にしている。	
	35 個人情報に十分注意しているか	5	1		
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6		そこまでに至っていない。今後地域との取り組みも念頭に置きながら進めていけたらと思う。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		職員には手に取りやすい様、ファイルに挟んで置いている。保護者へは契約時にマニュアルがある事を知らせている。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	活動の中に取り入れ、子どもたちがわかりやすい様にしている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	虐待委員会を設置し、年に1,2回は研修を行っている。委員会で普段のヒヤリハットの情報を収集し、定期的に会議をする予定をしている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	身体拘束についての記録は会議で話し合い、都度残すようにしている。	身体拘束については契約時に説明はしているが、放課後等デイサービス計画にもしっかりと記載していくように努力する。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		おやつや食事の時は、必ずアレルギー児の食べている物を確認する様にしている。スタッフ間で共有できる様、目に見える形で情報録を置いている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		ヒヤリハットの話し合いはしているが、書面で残してはいないので今後作成していけたらと思っている。